

UMIN 登録番号	演題名	発表形式	セッションテーマ	演題番号	発表日時
10000	がん環境の免疫ゲノム解析に基づく治療標的がん抗原とヒト型治療抗体の発見	ワークショップ13	免疫療法・抗体療法 II	W13-4	5月18日(金) 10:00~10:48
10002	RAS-RAFシグナル異常肺がんにおけるMEK阻害薬とHDAC阻害薬の併用治療効果	ワークショップ3	キナーゼ阻害剤	W3-3	5月16日(水) 15:20~16:20
10003	CDK4は乳房外パジェット病にて発現している	ポスターセッション12	希少がん・新規アプローチ	P12-1	5月17日(木) 17:20~18:02
10004	非小細胞肺癌における腫瘍免疫関連分子B7-H3による抗PD-1治療への抵抗性とその克服について	ワークショップ1	免疫療法・抗体療法 I	W1-1	5月16日(水) 14:20~15:20
10005	ヒストンメチル化酵素WHSC1は卵巣明細胞癌において新規治療標的となり得る	ポスターセッション1	ゲノム・エピゲノム・エピジェネティクス	P1-5	5月16日(水) 16:30~17:18
10007	担癌患者における免疫チェックポイント阻害剤投薬後の胸水検体を用いたフローサイトメトリー解析の検討	ポスターセッション3	免疫療法・抗体療法	P3-1	5月16日(水) 16:30~17:06
10008	がん細胞に活性酸素種産生を誘導するテラクロロピリジン誘導体の発見	ポスターセッション11	ケミカルバイオロジー	P11-1	5月17日(木) 17:20~18:02
10009	がん細胞の遊走を阻害する放線菌由来ketomycinのスクリーニングと乳がんMDA-MB-231細胞における2Dおよび3D浸潤の抑制	ポスターセッション11	ケミカルバイオロジー	P11-2	5月17日(木) 17:20~18:02
10010	新規経口DNA脱メチル化剤OR-21の効果の検討	ワークショップ2	ゲノム・エピゲノム/miRNA	W2-3	5月16日(水) 14:20~15:20
10011	アンドロゲンレセプタープライミングバリエーション発現制御に関わる因子の探索研究	ポスターセッション12	希少がん・新規アプローチ	P12-5	5月17日(木) 17:20~18:02
10012	疾患特異的iPS細胞による慢性骨髄球性白血病の原因遺伝子SLITRK4の同定	ワークショップ9	がん幹細胞/不均一化	W9-2	5月17日(木) 15:10~16:10
10013	軟骨肉腫に対するIDH変異を標的とした分子標的治療の開発	ワークショップ2	ゲノム・エピゲノム/miRNA	W2-1	5月16日(水) 14:20~15:20
10015	海洋由来天然物DC1149Bの栄養飢餓環境選択的がん細胞増殖阻害活性	ポスターセッション11	ケミカルバイオロジー	P11-3	5月17日(木) 17:20~18:02
10016	エンザルタミド耐性を克服する前立腺癌治療薬シンドの探索	ポスターセッション5	耐性因子・感受性因子	P5-1	5月16日(水) 16:30~17:12
10017	濾胞性リンパ腫におけるMYC転座と予後に及ぼす影響について	ポスターセッション2	miRNA・リキッドバイオプシー・バイオマーカー	P2-7	5月16日(水) 16:30~17:12
10018	光プローブをもちいたプログラム細胞死(アポトーシス、ネクロトーシス)の動的解析	ワークショップ4	細胞死/オートファジー	W4-5	5月16日(水) 15:20~16:20
10019	MicroRNAによる新規がん遺伝子PTBP1の調節機構とWarburg効果との関連性	ワークショップ12	がん代謝	W12-1	5月17日(木) 16:10~16:58
10020	成人T細胞白血病/リンパ腫におけるDNAメチル化異常と脱メチル化剤による抗腫瘍効果	ワークショップ15	ケミカルバイオロジー/エピジェネティクス	W15-4	5月18日(金) 11:00~12:00
10021	SNIPERのIAPリガンド誘導体化によるプロテインノックダウン活性及び抗がん活性の改善	ワークショップ15	ケミカルバイオロジー/エピジェネティクス	W15-2	5月18日(金) 11:00~12:00
10022	腫瘍微小環境におけるFcγ RIIBの役割	ワークショップ1	免疫療法・抗体療法 I	W1-3	5月16日(水) 14:20~15:20
10023	新規フルボグ効果制御化合物の作用機序解析	ワークショップ12	がん代謝	W12-2	5月17日(木) 16:10~16:58
10024	高異型度卵巣漿液性がんにおけるMARK3のがん抑制遺伝子としての役割	ワークショップ8	がん遺伝子・がん抑制遺伝子	W8-2	5月17日(木) 11:00~12:00
10025	C-mannosylationによるR-spondin2の機能制御	ポスターセッション12	希少がん・新規アプローチ	P12-6	5月17日(木) 17:20~18:02
10026	標的結合ペプチドの構造ゆらぎ抑制による高親和性HER2結合小型タンパク質の創製	ポスターセッション3	免疫療法・抗体療法	P3-2	5月16日(水) 16:30~17:06
10027	Cytosporolide類の細胞増殖抑制活性における責任分子標的の同定	ワークショップ15	ケミカルバイオロジー/エピジェネティクス	W15-1	5月18日(金) 11:00~12:00
10028	微小環境ストレス下でのがん細胞の生存に対する乳酸の影響	ポスターセッション10	細胞死/オートファジー	P10-5	5月17日(木) 17:20~17:56
10029	AMP活性化プロテインキナーゼ活性化薬メトホルミンの殺細胞効果に対する細胞外酸性pHの関与	ポスターセッション6	がん微小環境・血管新生・低酸素	P6-1	5月16日(水) 16:30~17:06
10030	肝細胞がんにおけるヒストン脱メチル化酵素LSD1の機能解析	ポスターセッション1	ゲノム・エピゲノム・エピジェネティクス	P1-7	5月16日(水) 16:30~17:18
10031	急性骨髄性白血病細胞株Kasumi-1におけるAm80(タミバロテン)とヒストン脱アセチル化酵素阻害薬との併用効果	ポスターセッション1	ゲノム・エピゲノム・エピジェネティクス	P1-8	5月16日(水) 16:30~17:18
10032	トリプルネガティブ乳癌細胞で微小管重合阻害剤Eribulinに発現誘導されるEpCAMによる薬剤耐性	ワークショップ10	耐性因子・感受性因子	W10-2	5月17日(木) 15:10~16:10
10033	血小板におけるASK1がADP受容体P2Y ₁₂ のリン酸化を介して肺へのがん転移を制御する	ポスターセッション7	転移・浸潤・発がん機構	P7-3	5月17日(木) 17:20~17:56
10034	肺癌におけるHippo経路分子MOB1の機能解析	ポスターセッション9	がん遺伝子・がん抑制遺伝子・がん代謝	P9-4	5月17日(木) 17:20~18:02
10035	新規転移制御分子Crumbs3の大腸癌における機能解析	ワークショップ14	転移・浸潤 I	W14-2	5月18日(金) 10:00~11:00
10036	Hippo経路の下流で働く転写因子TEADのリジン長鎖アシル化修飾による活性制御	ポスターセッション9	がん遺伝子・がん抑制遺伝子・がん代謝	P9-5	5月17日(木) 17:20~18:02
10037	選択的かつ強活性を有する新規 Indoleamine 2,3-dioxygenase 1 (IDO1) 阻害剤KHK2455のIn VitroおよびIn Vivo機能解析	ワークショップ1	免疫療法・抗体療法 I	W1-5	5月16日(水) 14:20~15:20
10038	MYD88 L265P変異はびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の中枢神経再発の指標である	ワークショップ11	バイオマーカー II・リキッドバイオプシー	W11-1	5月17日(木) 16:10~17:10
10039	Vasohibin-2を分子標的とした次世代型抗体療法の開発	ワークショップ1	免疫療法・抗体療法 I	W1-4	5月16日(水) 14:20~15:20

UMIN 登録番号	演題名	発表形式	セッションテーマ	演題番号	発表日時
10040	栄養飢餓選択的細胞毒性を示すAuranofinの作用機序	ワークショップ7	がん微小環境・血管新生・低酸素	W7-3	5月17日(木) 11:00~12:00
10041	ヒストンメチル化酵素SMYD2は卵巣高悪性度漿液性癌に対する治療標的となりうる	ポスターセッション1	ゲノム・エピゲノム・エピジェネティクス	P1-6	5月16日(水) 16:30~17:18
10042	新規薬剤標的の分子解析システム2DE-CETSAの構築と応用	ワークショップ15	ケミカルバイオロジー/エピジェネティクス	W15-3	5月18日(金) 11:00~12:00
10043	B-グルカンによるK-Rasを標的とした核酸デリバリシシステムの開発	ポスターセッション2	miRNA・リキッドバイオブシー・バイオマーカー	P2-1	5月16日(水) 16:30~17:12
10044	神経膠芽腫のHMGB1/RAGE相互作用を標的とした新規がん戦略	ポスターセッション8	増殖因子・サイトカイン	P8-1	5月17日(木) 17:20~17:56
10045	タンキラーゼ阻害剤による大腸がん幹細胞の標的化とその作用メカニズム	ワークショップ9	がん幹細胞/不均一化	W9-1	5月17日(木) 15:10~16:10
10046	前立腺がん細胞株は培養条件により癌幹細胞様変化及び可塑性を示す	ワークショップ9	がん幹細胞/不均一化	W9-3	5月17日(木) 15:10~16:10
10047	新規セサミノール結合蛋白質ANT2によるcyclin D1の多面的制御機構の解明	ワークショップ8	がん遺伝子・がん抑制遺伝子	W8-1	5月17日(木) 11:00~12:00
10048	原発不明がんの治療のための標的分子	ポスターセッション7	転移・浸潤・発がん機構	P7-4	5月17日(木) 17:20~17:56
10049	インテグリンα6の複合体形成部位の同定とその部位の阻害ペプチドによるbasal-like乳癌の転移抑制	ワークショップ14	転移・浸潤 I	W14-4	5月18日(金) 10:00~11:00
10050	FGFR阻害剤BGJ398とHDAC阻害剤OBP-801との併用による、膀胱癌に対する分子標的治療戦略	ワークショップ4	細胞死/オートファジー	W4-3	5月16日(水) 15:20~16:20
10051	ALK陽性非小細胞肺癌がん細胞株を用いた休眠がん細胞標的薬剤の薬効評価	ポスターセッション6	がん微小環境・血管新生・低酸素	P6-2	5月16日(水) 16:30~17:06
10052	急性骨髄性白血病において高発現するヒストン脱メチル化酵素の機能解析	ワークショップ6	発がん機構・希少がん	W6-1	5月17日(木) 10:00~11:00
10053	βアラステチン1を標的として、がん細胞に誘起される繊維芽細胞遊走を阻害する小分子の同定	ワークショップ14	転移・浸潤 I	W14-3	5月18日(金) 10:00~11:00
10054	T細胞活性化抗体医薬の代替となる低分子量PD-1結合タンパク質の創製	ポスターセッション3	免疫療法・抗体療法	P3-3	5月16日(水) 16:30~17:06
10055	EGFRvIII発現がん細胞の3D-スフィロイド形成抑制を起こす新規呼吸鎖複合体 I 基質化合物の作用機構解析	ポスターセッション9	がん遺伝子・がん抑制遺伝子・がん代謝	P9-1	5月17日(木) 17:20~18:02
10056	Dimethyl fumarateによるNF-κB核移行阻害を介した悪性黒色腫での腫瘍増殖・転移抑制効果	ワークショップ16	転移・浸潤 II	W16-1	5月18日(金) 11:00~12:00
10057	HGFによる骨髄間質細胞および骨芽細胞におけるRANKL発現促進効果を介した骨破壊機序の解明	ポスターセッション8	増殖因子・サイトカイン	P8-2	5月17日(木) 17:20~17:56
10058	多発性骨髄腫でのRANK/RANKLを介したCAM-DR1はSrc経路阻害により克服できる	ポスターセッション5	耐性因子・感受性因子	P5-2	5月16日(水) 16:30~17:12
10059	Statins及びdacarbazine併用による悪性黒色腫での腫瘍増殖・転移抑制及び延命効果	ワークショップ16	転移・浸潤 II	W16-2	5月18日(金) 11:00~12:00
10060	StatinsによるRas/ERK及びRas/mTOR経路阻害を介したBim発現増加でのアポトーシス誘導機序	ポスターセッション10	細胞死/オートファジー	P10-4	5月17日(木) 17:20~17:56
10061	Adriamycin耐性多発性骨髄腫においてシグナル伝達経路を介したBim発現増加が耐性獲得の中心的役割を果たす。	ワークショップ10	耐性因子・感受性因子	W10-5	5月17日(木) 15:10~16:10
10062	新規NF-κappaB/STAT3阻害剤bavachinによる多発性骨髄腫でのアポトーシス誘導機構の解析	ワークショップ4	細胞死/オートファジー	W4-2	5月16日(水) 15:20~16:20
10063	レバミピドによるAkt/mTOR経路活性化を介した抗がん剤誘導口腔粘膜細胞死抑制効果	ワークショップ4	細胞死/オートファジー	W4-4	5月16日(水) 15:20~16:20
10064	PKC阻害剤により抗がん剤誘導末梢神経障害を抑制できる	ポスターセッション4	キナーゼ阻害剤	P4-4	5月16日(水) 16:30~17:18
10065	抗腫瘍性免疫におけるASK1の機能解析	ワークショップ13	免疫療法・抗体療法 II	W13-1	5月18日(金) 10:00~10:48
10067	胃がんの薬剤耐性に寄与するCD44v陽性細胞を標的とする化合物のin silico探索	ワークショップ9	がん幹細胞/不均一化	W9-4	5月17日(木) 15:10~16:10
10068	がん関連線維芽細胞由来液性因子によるがん幹細胞様細胞の維持	ワークショップ7	がん微小環境・血管新生・低酸素	W7-4	5月17日(木) 11:00~12:00
10069	Quizartinib耐性急性骨髄性白血病における分子標的としてのHSP90	ポスターセッション4	キナーゼ阻害剤	P4-2	5月16日(水) 16:30~17:18
10070	すい臓がん細胞と間質細胞の共培養によるキナーゼ阻害剤抵抗性の解析	ポスターセッション11	ケミカルバイオロジー	P11-7	5月17日(木) 17:20~18:02
10071	ホルモン受容体陽性乳癌細胞におけるHER3分解機構の解明	ポスターセッション8	増殖因子・サイトカイン	P8-3	5月17日(木) 17:20~17:56
10072	トポイソメラーゼ阻害剤lamellarinの化学修飾による耐性EGFR T790M/C797S阻害剤の創製	ワークショップ3	キナーゼ阻害剤	W3-1	5月16日(水) 15:20~16:20
10073	Intervenorinによる胃間質細胞の調節を介した胃がん細胞の増殖抑制	ポスターセッション6	がん微小環境・血管新生・低酸素	P6-3	5月16日(水) 16:30~17:06
10074	アミノ酸飢餓により引き起こされるIntegrated Stress Response選択的阻害剤の性状解析	ポスターセッション4	キナーゼ阻害剤	P4-5	5月16日(水) 16:30~17:18
10075	肺がん幹細胞性の維持における受容体チロシンキナーゼAXLの重要性	ポスターセッション7	転移・浸潤・発がん機構	P7-1	5月17日(木) 17:20~17:56
10076	YFP-EGFR-ICD法を用いた、uncommon compound mutationを有するEGFR遺伝子変異陽性肺癌におけるEGFR-TKI感受性予測	ワークショップ3	キナーゼ阻害剤	W3-4	5月16日(水) 15:20~16:20
10077	線維細胞が腫瘍免疫に及ぼす影響についての検討	ワークショップ1	免疫療法・抗体療法 I	W1-2	5月16日(水) 14:20~15:20

UMIN 登録番号	演題名	発表形式	セッションテーマ	演題番号	発表日時
10079	CRISPRスクリーニングによる分子標的薬耐性・感受性機構の解析	ワークショップ10	耐性因子・感受性因子	W10-3	5月17日(木) 15:10~16:10
10080	膀胱癌に対する合成miR-143膀胱内投与による抗腫瘍効果	ワークショップ2	ゲノム・エピゲノム/miRNA	W2-5	5月16日(水) 14:20~15:20
10081	膵がん細胞株におけるグルコース飢餓下でのミトコンドリア機能の重要性	ポスターセッション6	がん微小環境・血管新生・低酸素	P6-4	5月16日(水) 16:30~17:06
10082	末梢循環骨髄腫細胞は多発性骨髄腫病巣のゲノムプロファイルを代表する?	ワークショップ9	がん幹細胞/不均一化	W9-5	5月17日(木) 15:10~16:10
10083	トレハロースリポソムの乳がんに対する治療効果	ポスターセッション10	細胞死/オートファジー	P10-1	5月17日(木) 17:20~17:56
10084	ハイブリッドリポソムの大腸がん細胞への特異的蓄積による抗腫瘍効果	ポスターセッション10	細胞死/オートファジー	P10-2	5月17日(木) 17:20~17:56
10085	カチオンリポソムの膵臓がんに対する <i>in vitro</i> および <i>in vivo</i> での治療効果	ポスターセッション10	細胞死/オートファジー	P10-3	5月17日(木) 17:20~17:56
10086	Precision Medicineを志向した次世代型のエピジェネティクス解析法の開発と今後の展開	ワークショップ2	ゲノム・エピゲノム/miRNA	W2-2	5月16日(水) 14:20~15:20
10087	同所性移植手法を用いた乳がん高転移株の作製とそのTranscriptome解析	ワークショップ14	転移・浸潤 I	W14-5	5月18日(金) 10:00~11:00
10088	核小体を標的としたp53活性化機構による新たな癌治療	ワークショップ8	がん遺伝子・がん抑制遺伝子	W8-3	5月17日(木) 11:00~12:00
10089	大腸がん肝転移に関与する肝臓間質細胞由来因子の同定	ポスターセッション8	増殖因子・サイトカイン	P8-4	5月17日(木) 17:20~17:56
10090	“Universal” CTC-chipと抗EGFR抗体(Cetuximab)を用いたEpCAM陰性中皮腫細胞の捕捉	ポスターセッション2	miRNA・リキッドバイオプシー・バイオマーカー	P2-4	5月16日(水) 16:30~17:12
10091	扁平上皮癌における新規p63結合分子STXBP4による腫瘍悪性化とがん分子標的薬の探索	ワークショップ5	バイオマーカー I	W5-1	5月17日(木) 10:00~11:00
10092	レチノイドによるMYCN陽性肝癌幹細胞の選択排除	ワークショップ5	バイオマーカー I	W5-3	5月17日(木) 10:00~11:00
10093	プロテオミクスを用いた抗がん活性天然化合物pyrenolide Aの作用解析	ポスターセッション11	ケミカルバイオロジー	P11-4	5月17日(木) 17:20~18:02
10094	olaparib耐性細胞を用いた耐性形質の解析	ポスターセッション5	耐性因子・感受性因子	P5-3	5月16日(水) 16:30~17:12
10096	肺癌・悪性胸膜中皮腫マウスモデルにおける免疫チェックポイント阻害薬と化学療法の併用効果	ポスターセッション3	免疫療法・抗体療法	P3-4	5月16日(水) 16:30~17:06
10098	低酸素誘導因子(HIF-1)のタンパク質間相互作用(PPI)を標的としたαヘリックス模倣低分子の設計・合成・生物活性評価	ポスターセッション6	がん微小環境・血管新生・低酸素	P6-5	5月16日(水) 16:30~17:06
10099	Nicotinamide phosphoribosyltransferase阻害抗がん剤に対する耐性機構	ポスターセッション5	耐性因子・感受性因子	P5-4	5月16日(水) 16:30~17:12
10100	エピゲノム創薬標的タンパク質の均質アッセイ性能の検証	ポスターセッション1	ゲノム・エピゲノム・エピジェネティクス	P1-1	5月16日(水) 16:30~17:18
10101	Y-box binding protein YB-1活性化を標的とした乳癌の内分泌治療耐性の克服治療	ポスターセッション5	耐性因子・感受性因子	P5-5	5月16日(水) 16:30~17:12
10102	血管内皮細胞におけるNDRG1はVEGF/VEGFR2/PLCγ1シグナルを特異的に活性化する一腫瘍血管新生抑制の有用な標的となるか?	ワークショップ7	がん微小環境・血管新生・低酸素	W7-5	5月17日(木) 11:00~12:00
10103	NDRG1を標的としたグリオブラストーマのGSK3β/AKT/S6活性制御による新規治療研究	ポスターセッション2	miRNA・リキッドバイオプシー・バイオマーカー	P2-6	5月16日(水) 16:30~17:12
10104	解糖系阻害剤2-Deoxy-D-glucoseによるシスプラチン高感受性化	ポスターセッション9	がん遺伝子・がん抑制遺伝子・がん代謝	P9-3	5月17日(木) 17:20~18:02
10105	腸内細菌叢と腸管炎症・がん化のインタラクションに関する検討	ポスターセッション12	希少がん・新規アプローチ	P12-7	5月17日(木) 17:20~18:02
10106	スキルス胃癌に対するFGFR阻害薬の有効性の検討	ポスターセッション4	キナーゼ阻害剤	P4-1	5月16日(水) 16:30~17:18
10107	胃がん細胞株における新規オキサリプラチン耐性因子SDF-2の同定	ポスターセッション5	耐性因子・感受性因子	P5-6	5月16日(水) 16:30~17:12
10108	非接着培養を用いた新規ROS1阻害剤評価系の構築	ワークショップ3	キナーゼ阻害剤	W3-5	5月16日(水) 15:20~16:20
10109	分子標的治療を施行した非透明型腎細胞癌の臨床的検討	ポスターセッション12	希少がん・新規アプローチ	P12-3	5月17日(木) 17:20~18:02
10110	次世代ALK阻害薬Lorlatinib耐性重複変異の発見とその治療戦略の示唆	ワークショップ3	キナーゼ阻害剤	W3-2	5月16日(水) 15:20~16:20
10111	LAT1阻害剤JPH203は、IGFBP-5を介して、膀胱癌細胞の増殖、浸潤、遊走能を阻害す	ワークショップ16	転移・浸潤 II	W16-5	5月18日(金) 11:00~12:00
10112	脳腫瘍における長鎖非翻訳RNA TUG1を標的とした新規治療法の開発	ポスターセッション2	miRNA・リキッドバイオプシー・バイオマーカー	P2-2	5月16日(水) 16:30~17:12
10113	低転移性の結腸がん細胞を用いた <i>in vivo</i> スクリーニングによる新規がん転移制御因子の探索	ポスターセッション7	転移・浸潤・発がん機構	P7-5	5月17日(木) 17:20~17:56
10114	Circulating free DNAとExosomal DNAの関係についての検討	ポスターセッション2	miRNA・リキッドバイオプシー・バイオマーカー	P2-5	5月16日(水) 16:30~17:12
10115	FGFR2シグナルをドライバー分子とするスキルス胃癌細胞株OCUM-14の樹立と有用性	ワークショップ6	発がん機構・希少がん	W6-3	5月17日(木) 10:00~11:00
10116	がん特異的エネルギー代謝の破綻と薬剤耐性	ポスターセッション9	がん遺伝子・がん抑制遺伝子・がん代謝	P9-2	5月17日(木) 17:20~18:02
10117	血管内皮細胞におけるASK1が肺へのがん転移を制御する	ワークショップ16	転移・浸潤 II	W16-3	5月18日(金) 11:00~12:00

UMIN 登録番号	演題名	発表形式	セッションテーマ	演題番号	発表日時
10118	固形癌に対する腫瘍遺伝子網羅的解析結果に基づく分子標的治療薬選択が与える影響	ワークショップ5	バイオマーカー I	W5-4	5月17日(木) 10:00~11:00
10119	ステロイド骨格を持つ薬抗がん剤の芽球性形質細胞様樹状細胞への効果	ワークショップ6	発がん機構・希少がん	W6-5	5月17日(木) 10:00~11:00
10120	大腸癌において7番染色体短腕(7p)に存在するDEAD Box Helicase56 (DDX56) の増幅が癌化に影響するsplicing variantを誘導する	ワークショップ8	がん遺伝子・がん抑制遺伝子	W8-4	5月17日(木) 11:00~12:00
10121	microRNAによる横紋筋肉腫の病態解明と標的分子	ワークショップ2	ゲノム・エピゲノム/miRNA	W2-4	5月16日(水) 14:20~15:20
10122	EGFR又はHER2 exon 20変異陽性非小細胞肺癌の臨床的特徴	ワークショップ5	バイオマーカー I	W5-2	5月17日(木) 10:00~11:00
10123	肝細胞がんの新たな早期診断法の開発	ワークショップ11	バイオマーカー II・リキッドバイオプシー	W11-3	5月17日(木) 16:10~17:10
10124	腎細胞がん細胞の好中球依存的な肺転移促進機構とエピゲノム変化との関連性	ポスターセッション6	がん微小環境・血管新生・低酸素	P6-6	5月16日(水) 16:30~17:06
10125	乳がん遺伝子解析のための遺伝子改変マウス乳腺の構築法	ポスターセッション7	転移・浸潤・発がん機構	P7-2	5月17日(木) 17:20~17:56
10126	Apc 変異マウスの腸管腫瘍形成におけるMyD88の役割の解析	ワークショップ7	がん微小環境・血管新生・低酸素	W7-1	5月17日(木) 11:00~12:00
10127	転移性腎細胞癌患者の血中循環腫瘍細胞におけるPD-L1発現の解析	ワークショップ11	バイオマーカー II・リキッドバイオプシー	W11-4	5月17日(木) 16:10~17:10
10128	ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) のための細胞膜透過性ホウ素クラスターの開発	ポスターセッション12	希少がん・新規アプローチ	P12-4	5月17日(木) 17:20~18:02
10129	ケモカイン・レセプター-CCR5阻害剤による乳がん骨転移抑制の可能性の検証	ワークショップ16	転移・浸潤 II	W16-4	5月18日(金) 11:00~12:00
10130	レニパチニブのヒト肝細胞株に対する増殖抑制効果の基礎的検討	ポスターセッション4	キナーゼ阻害剤	P4-6	5月16日(水) 16:30~17:18
10131	Siphonodictyal Bによる大腸癌細胞のアポトーシス誘導機序の解析	ポスターセッション10	細胞死/オートファジー	P10-6	5月17日(木) 17:20~17:56
10132	造血器腫瘍治療戦略としての BMI-1阻害	ワークショップ4	細胞死/オートファジー	W4-1	5月16日(水) 15:20~16:20
10133	卵巣高異型度漿液性腺癌では化学療法後にクローン数が減少する	ポスターセッション1	ゲノム・エピゲノム・エピジェネティクス	P1-2	5月16日(水) 16:30~17:18
10134	長期二重二重治療中に肝内胆管癌を合併した慢性骨髄性白血病(CML)の1例	ポスターセッション4	キナーゼ阻害剤	P4-7	5月16日(水) 16:30~17:18
10135	タモキシフェン、セレロックスが著効した腹腔内巨大デスマイト型線維腫症の一例	ポスターセッション12	希少がん・新規アプローチ	P12-2	5月17日(木) 17:20~18:02
10136	乳がん悪性化におけるヒストン脱メチル化酵素KDM6Aの役割	ポスターセッション1	ゲノム・エピゲノム・エピジェネティクス	P1-3	5月16日(水) 16:30~17:18
10137	ヒトNK細胞の増殖及び表現型に対するIL-18の効果:癌免疫療法への応用	ポスターセッション3	免疫療法・抗体療法	P3-5	5月16日(水) 16:30~17:06
10138	UCHL1-HIF-1経路を指向した分子標的抗癌剤開発研究	ワークショップ7	がん微小環境・血管新生・低酸素	W7-2	5月17日(木) 11:00~12:00
10141	抗BCR-ABL活性を持つ植物由来五環性トリテルペノイド	ポスターセッション4	キナーゼ阻害剤	P4-3	5月16日(水) 16:30~17:18
10142	がん細胞におけるエピジェネティクス変化と鉄代謝	ワークショップ12	がん代謝	W12-4	5月17日(木) 16:10~16:58
10143	子宮内膜オルガノイドへのin vitro遺伝子導入による癌肉腫の誘導	ワークショップ6	発がん機構・希少がん	W6-4	5月17日(木) 10:00~11:00
10144	テロメア損傷は、Sirtuin遺伝子群の発現を抑制し、肝線維化を促進する。	ワークショップ12	がん代謝	W12-3	5月17日(木) 16:10~16:58
10145	肝細胞癌における末梢血液分画比を用いた腫瘍免疫に関する新たなバイオマーカー	ワークショップ11	バイオマーカー II・リキッドバイオプシー	W11-2	5月17日(木) 16:10~17:10
10146	ErbB4に依存した増殖を示す肺がん細胞株とその治療薬の同定	ポスターセッション9	がん遺伝子・がん抑制遺伝子・がん代謝	P9-7	5月17日(木) 17:20~18:02
10147	DSE-FRET assayを用いたRelA-DNA結合阻害化合物の探索及び機能解析	ポスターセッション11	ケミカルバイオロジー	P11-5	5月17日(木) 17:20~18:02
10148	悪性胸膜中皮腫モデルマウスにおける老化関連マイクロRNAの腫瘍抑制効果	ポスターセッション2	miRNA・リキッドバイオプシー・バイオマーカー	P2-3	5月16日(水) 16:30~17:12
10149	3次元培養法による薬剤耐性細胞株の評価	ポスターセッション5	耐性因子・感受性因子	P5-7	5月16日(水) 16:30~17:12
10150	ヒストン脱メチル化酵素JARID1Aを標的とする薬剤耐性克服剤の開発	ワークショップ15	ケミカルバイオロジー/エピジェネティクス	W15-5	5月18日(金) 11:00~12:00
10151	ゲノム情報と知識データベースの融合による治療薬の選択	ポスターセッション1	ゲノム・エピゲノム・エピジェネティクス	P1-4	5月16日(水) 16:30~17:18
10152	トリプルネガティブ乳がんの悪性化におけるRHBDL2の役割解明と創薬開発	ワークショップ8	がん遺伝子・がん抑制遺伝子	W8-5	5月17日(木) 11:00~12:00
10153	TCGAデータベースと早期・晩期胃癌のゲノム情報を組み合わせたマイクロサテライト不安定性癌の発生	ワークショップ6	発がん機構・希少がん	W6-2	5月17日(木) 10:00~11:00
10154	IL-1受容体拮抗薬はHippo経路の破綻した悪性中皮腫細胞の進展を抑制する	ポスターセッション8	増殖因子・サイトカイン	P8-5	5月17日(木) 17:20~17:56
10155	YAPシグナルを標的とした新規抗がん剤の開発	ポスターセッション9	がん遺伝子・がん抑制遺伝子・がん代謝	P9-6	5月17日(木) 17:20~18:02
10156	大腸がんにおけるMEK/ERK経路を介したKITの発現調節機構	ポスターセッション8	増殖因子・サイトカイン	P8-6	5月17日(木) 17:20~17:56

UMIN 登録番号	演題名	発表形式	セッションテーマ	演題番号	発表日時
10157	プロテインノックダウン法を利用した新規YAPシグナル阻害剤の開発	ポスターセッション11	ケミカルバイオロジー	P11-6	5月17日(木) 17:20~18:02
10158	臓器間heterogeneityとosimertinib耐性	ワークショップ10	耐性因子・感受性因子	W10-1	5月17日(木) 15:10~16:10
10159	非小細胞肺癌の抗PD-1抗体治療における新規効果予測因子：末梢血好中球/リンパ球比の有用性の検討	ポスターセッション3	免疫療法・抗体療法	P3-6	5月16日(水) 16:30~17:06
10160	新規ゴルジ体阻害剤M-COPAに対する獲得耐性機構の解析	ワークショップ10	耐性因子・感受性因子	W10-4	5月17日(木) 15:10~16:10
10161	腫瘍浸潤リンパ球の解析による肉腫における免疫療法の可能性の探索	ワークショップ13	免疫療法・抗体療法 II	W13-3	5月18日(金) 10:00~10:48
10164	胃癌肝転移関連分子を標的とした新規分子標的治療の開発	ワークショップ14	転移・浸潤 I	W14-1	5月18日(金) 10:00~11:00
10165	スタウスボリン内包エヒルピシンミセルは、がん免疫(ICD)を誘起し、癌の再発およびがん転移を抑制する。	ワークショップ13	免疫療法・抗体療法 II	W13-2	5月18日(金) 10:00~10:48
10167	Srcがんシグナルによるエクソソーム形成亢進メカニズム	ワークショップ11	バイオマーカー II・リキッドバイオプシー	W11-5	5月17日(木) 16:10~17:10
10170	がん転移過程の生体イメージングのためのがんメタカモデルの開発	ポスターセッション7	転移・浸潤・発がん機構	P7-6	5月17日(木) 17:20~17:56
10172	レナリドミド感受性株の長期馴養後耐性バリエーションの遺伝子発現変動	ワークショップ5	バイオマーカー I	W5-5	5月17日(木) 10:00~11:00
10178	EGFR阻害薬の耐性機構を基盤としたシーケンス治療が有効であったEGFR変異陽性肺癌の1例	ポスターセッション4	キナーゼ阻害剤	P4-8	5月16日(水) 16:30~17:18